

2010年 公立大学法人神戸市外国語大学 10大ニュース

■入学試験6年ぶりに志願者数が2,000名を超す。

少子化が進み、受験生確保が厳しくなる中、本学では6年ぶりに志願者数が2,000名を超えた。近隣私立大学の外国語・国際系学部の新設等、今後、さらに大学間の競争が激しくなる中で、本学では、質の高いカリキュラム提供による洗練された外国語能力の修得など、本学の魅力を発信できるよう、引き続き広報の充実に努めていく。

■新カリキュラムの推進

2009年度から始まった新カリキュラムは、語学授業の少人数化や国際コミュニケーションコースの授業展開など、順調に推移している。

特に、2009年度から新設された国際コミュニケーションコース（ICC）では、本学と英国のリーズ大学が進める日英共同翻訳プロジェクトに、本学学生とリーズ大学の学生がボランティアとして参画し、共同して英国ブロンテ博物館展示パネルの翻訳事業を行う取り組みを行った。

■短期派遣留学制度の充実

在学期間中に一度は留学を経験する機会を提供できるよう、本学では、短期派遣留学制度の整備を進めている。

特に、今年は、2009年度から開始したUCLA Extension参加者が27名、セゴビア市および国立通信大学の参加者が12名と、多数の在学生在が参加したほか、今年度より開始したアメリカ・インスティテュート（2011年3月出発）には、16名が参加する予定となっている。

今後も幅広い地域に短期派遣留学ができるよう、大学交流締結先の拡充を推進していく。



■2010年度オープンキャンパス（8月8日（日）・22日（日）開催）で過去最高の来場者を記録

8月8日（日）、22日（日）に行われた2010年度オープンキャンパスでは、酷暑にもかかわらず、2日間計3,800人が来場者し、過去最高の記録となった。また、アンケートにおいても、開催内容について好意的な意見を多数頂くことができた。開催にあたっては、学生7団体および広報サポーターと教職員が一体となり、小規模大学ならではのアットホームな雰囲気で開催することができた。今年は、各学科教員による学科説明・模擬授業、学生によるプレイベントのほか、大学生活や受験期の体験談などをパネルディスカッション形式で行った。



■厳しい情勢が続く中、就職活動への取り組みを推進

昨今、大学生の就職内定状況が非常に厳しく、社会問題化する中、本学では CA 内定者 5 名、教員採用予定者 13 名と、狭き関門を突破した学生をはじめ、大手出版社や一部上場企業に内定した学生も多数おり厳しい就職活動の中でも善戦している。

来年も就職内定状況が一層厳しくなることが予想されているが、本学では、各種セミナー、ガイダンス、個人相談などといった面で、学生の就職活動におけるきめ細かなサポートを行っていく。

■東京外国語大学との初の合同セミナーを開催

国公立の外国語大学という特色を有する、本学と東京外国語大学が、教育と研究の両面にわたって広く連携を図り、双方の学術研究の成果を共有するとともにその成果を社会に還元することを目的とした「教育・研究交流協定」を 2009 年 1 月に締結した。

その事業の一環として、9 月 24 日(金)・25 日(土)に合同セミナーを本学で開催し、東京外国語大学からは、和田副学長、村尾研究科長と院生・研究者等 11 名の方々が来学された。本学からは木村学長、太田研究科長、佐藤特任教授、大西教授、指教授、成田講師と院生・研究者等 21 名が参加し、翻訳をテーマに 4 つのセッション等を実施した。また、座学だけではなく神戸の街を散策しながら臨地研究も行い、相互の交流も進めた。



■アクションプランに基づく地域貢献事業進む

2010 年 3 月、本学と神戸市教育委員会は、相互の人的・知的資源の交流活用を図り、有意義な諸事業を行うことにより、相互間の教育・研究の充実及び発展に資することを目的に、従前に結んでいた連携協力に関する協定に基づく具体的な各種事業を実施していくにあたってのアクションプランを策定した。

その事業の一環として、小中高の教員のための研修、「スキルアップ研修」、近隣小学校における本学教員による出前授業や小学校生徒の大学訪問、中学生と外国語補助教員および本学学生との交流事業である「サマースクール」、近隣市立高等学校への出前授業や在学生による学習支援サポート(夏合宿時における指導補助など)、大学見学など、さまざまな事業を実施した。

また、年間を通じ、近隣中学校からのトライやるウィークの受け入れのほか、大学見学の受け入れ、高校への教職員派遣、地域の小中高における教育支援事業の積極的参加などを行った。



■推薦入試【全国枠】順調なスタート

今年度から創設された推薦入試【全国枠】。定員 17 名に対し、51 名の出願があり、英検準 1 級等の出願資格を設定した中、多数の受験があった。

今後も、本制度の広報を充実するなど、幅広い地域の高等学校から推薦入試に出願して
もらえる取り組みを進めていく。

■新学長・新理事長任命の申出

「公立大学法人神戸市外国語大学理事長・学長選考会議」における選考結果に基づき、
英米学科教授、船山仲他氏を次期理事長・学長として任命することについて、12月1日、
本法人より神戸市長へ申出を行った。(任期は2011年4月1日～2015年3月31日の4年
間)

木村榮一現学長・理事長のリーダーシップの下、これまで築き上げてきた「第1期中期
計画」の成果を継承するとともに、教職員の英知を結集し、大学のさらなる発展を決定づ
けるための「第2期中期計画」を策定し、推進していく役割が期待される。

■R&I社による格付け「AA」を取得

12月16日に株式会社格付投資情報センター(R&I 英語名: Rating & Investment
Information, Inc)より発行体格付け「AA(格付けの方向性安定的)」を取得した。

R&I社は、格付事業、投資評価事業、情報事業を行っている企業であるが、新たな視点
からの財務面を含んだ大学経営についての評価も重要であると考え、今後の大学運営に活
用していくことを目的とし、格付を取得した。